がん種　頭頸部がん

レジメン名　FP+Pembrolizumab 療法

催吐リスク分類　高度

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日					
						1	2	3	4	…	21
1	生食注シリンジ	10mL	静注		投与前フラッシュ用	○					
2	生理食塩液	500mL	点滴静注	1時間		○					
3	ペムブロリズマブ（キイトルーダ）	200mg	点滴静注	30分	インラインフィルター使用	○					
	生理食塩液	100mL									
4	生食注シリンジ	10mL	静注		フラッシュ用	○					
5	生理食塩液	500mL	点滴静注	1 時間		○					
	硫酸Mg補正液20mEq/20mL	8mL									
6	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注	30分		○					
	アロカリス点滴静注	1 瓶									
	デキサート注射液1.65mg	6管									
7	シスプラチン	100mg/㎡	点滴静注	2時間	全量500mL 遮光	○					
	生理食塩液	500mL									
8	フルオロウラシル（5-FU）	2000mg/㎡/2日	点滴静注	48時間	day1,3に２日分調製	○→		○→			
	生理食塩液	1000mL									
9	フロセミド注20mg	1管	点滴静注 側管	2時間		○					
	生理食塩液	500mL									
10	生理食塩液	500mL	点滴静注 側管	2時間		○					
11	生理食塩液	100mL	点滴静注 側管	15分			○	○	○		
	デキサート注射液1.65mg	4管									
12	生理食塩液	2000mL	点滴静注 側管	8時間	1000ml×2袋 ※必要時追加		○	○			
13	生食注シリンジ	10mL	静注		抗がん剤終了後ロック用				○		

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　制限なし（シスプラチン、フルオロウラシルは６コースで終了）

休薬規定及び減量規定、中止基準	各薬剤の添付文書、適正使用ガイド参照
その他	経口補液：当日シスプラチン投与終了までに1000mL程度 尿量確保：100mL/ｈ、１日3000mL程度（体重の測定を行い、適宜利尿薬を併用する）